※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０３５

令和５年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「美術２」（光村）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術の授業では、「表現力」と「美意識」を深めます。表現力は、好きな色や形を探し、組み合わせ、みなさん独自の世界を創り上げてゆくことです。そのためには、先人や他の人の作品に接して、見方を深めたり伝統的・歴史的な表現を理解することも必要です。また、「美意識」を高めることは、美術に限らず様々な生活の場面で、自分で考え判断するための尺度になります。豊かな好奇心が、あなたを美の世界に案内してくれるはずです。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通じて、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1)　対象や事象を捉える造形的な観点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2)　造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3)　主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造してゆく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的にあらわしている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え主題を生成し、創造的に発送し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造してゆく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
Ⅰ	油画1	百人一首を描く 任意の一首を現代的イメージに置きかえた表現を考える。 発想から具体化の過程を素描で確認する。 空想世界の具象的表現を油彩で描く。	a:古典世界を現代的イメージで表現できているか。 b:制作段階に応じて、用具の特性を活かし、表現方法を工夫し創造的に制作できているか。 c:学習の流れにそって、積極的・主体的に取り組めたか。	ラフスケッチ エスキース	エスキースおよび制作途中の作品	学習観察
	立体表現(構想)	フィギュアの構想 架空の生物のイメージをまとめる。(参考資料研究) イメージ図(見取り図)の制作 正面・側面図の制作	a:立体作品についての理解ができているか。 b:独自の発送・構造を工夫し、効果的な表現ができているか。 c: 学習の流れにそって、積極的・主体的に取り組めたか。	ラフスケッチ イメージ図	正面図 側面図 立体の造形性	学習観察 提出物
	鑑賞	展覧会鑑賞レポート 実際に美術館の展覧会を鑑賞しそのレポートを提出する。	a:表現の多様性を理解できたか。 b:造形的な良さや美しさなどについての考察ができているか。 c:質の高い展覧会を探し、積極的に鑑賞できているか。	提出物の内容	提出物の内容	提出数 内容
Ⅱ	油画2	抽象表現 本館(登録文化財)を中心に、建築物の造形的美しさを油彩で表現する。	a: 抽象表現の歴史・時代背景・現代美術への展開や技法などについて理解できているか。 b: 独自の構想・技法を工夫し、効果的な表現ができているか。 c:学習の流れにそって、積極的・主体的に取り組めたか。	ラフスケッチ エスキース	エスキース段階での評価 完成作品での評価	学習観察 提出物
	立体表現(制作)	フィギュアの制作 架空の生物の制作 心棒と台の制作 フィギュア用粘土による造形。	a:架空の生物の形態や造形性について合理的な検討・考察がされているか。 b:形態の面白さや美しさ、造形物の効果的な立体表現ができているか。 c:学習の流れにそって、積極的・主体的に取り組めたか。	ラフスケッチ エスキース	完成作品 独自性 形の美しさ	提出作品 完成度 細部の作り込み
		展覧会鑑賞レポート 実際に美術館の展覧会を鑑賞しそのレポートを提出する。	a:表現の多様性を理解できたか。 b:造形的な良さや美しさなどについての考察ができているか。 c:質の高い展覧会を探し、積極的に鑑賞できているか。	提出物の内容	提出物の内容	提出数 内容

※令和４年度以降入学生用

Ⅲ	石膏デッサン	石膏像の鉛筆によるデッサン ギリシャまたはローマの彫刻の石膏像を鉛筆で描く。	a:光と影の関係を理解できたか。 b:石膏像を描くことによる、写実的表現の可能性を追求できたか。 c:表現に主体的に取り組み、効果的な表現ができたか。	荒描段階での評価	完成作品での評価 写実性	学習観察 提出物
	想定問題	空間表現問題 建築・造形工学などの想定問題に取り組む。	a:問題の趣旨や条件が理解できているか。 b:正確で適切な空間表現ができているか。 c:幅広い知識と洞察力で意欲的に取り組めたか。	問題文の読み込み 条件の充足	空間表現	学習観察 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度